

令和 8 年 6 月 10 日

教頭

「熱中症の予防と対応」に係る学校体制の整備について

Ⅰ 目 的

本校の危機管理マニュアル「熱中症の予防と対応」に沿った対応に加え、緊急時に学校が迅速に機能するための具体的な体制を定め、職員の役割を明確にするとともに、生徒や保護者への説明・対応をより確実なものとするため。

2 事前準備（5月～6月）

- （１）職員へ対応方法の周知・・・・・・・・・・本書、保護者文書、救急措置（教室掲示）
- （２）生徒・保護者へ周知・・・・・・・・・・文書配信・生徒へ救急措置方法の説明
- （３）熱中症予防情報サイトに登録・・・・・・警戒アラート発表時のメール受信（教頭）
- （４）暑さ指数計の設置・・・・・・・・・・職員室と体育館に設置

3 熱中症の予防と対応の実施について

熱中症予防と対応の判断基準は、環境省「熱中症予防情報サイト」に掲載される暑さ指数 WBGT の予測値（2 日後まで）とする。ただし、校内での実測値、活動場所、行事内容などの実情も考慮して対応を検討する。

（１）予測値 25～27

以下の熱中症予防基本対策を職員へ指示する。〔管理職〕

- ・授業中の水分補給、簡易エアコンや扇風機の適切な使用による換気
- ・部活動中の水分補給、適度な休息、扇風機等の使用による活動場所の換気

（２）予測値 28～30

- ・ジャージ登校許可の検討と実施〔管理職・生徒指導部・各年次主任〕
- ・体育や部活動の実施方法の工夫や制限の検討と実施〔管理職・体育科・当該部活顧問〕

（３）予測値 31 以上

- ・体育や部活動の制限と中止等について検討と実施〔管理職・体育科・当該部活顧問〕
- ・各種行事の制限と中止等について検討と実施〔管理職・当該分掌部長・当該年次主任〕
- ・近隣高との情報共有〔管理職〕

（４）予測値 33 以上（熱中症警戒アラート発表） ※マニュアル p.22 を参考

- ・下校時間の繰り上げ・臨時休校の検討と実施〔管理職・分掌部長・年次主任〕
- ・近隣高との情報共有〔管理職〕

4 対応の決定と保護者連絡

- ・具体的な対応（ジャージ登校許可、部活動の中止、下校時間の繰り上げ等）が決定した場合は、職員への対応周知後に、管理職から Classi で生徒・保護者に連絡する。

令和8年6月 日

保護者の皆様

北海道大麻高等学校長 岩 崎 弘 之

熱中症予防に係る対応について（お知らせ）

初夏の候、保護者の皆様におかれましては益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。
また、日ごろより本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。
さて、近年は全国的に気温が上昇しており、今年も厳しい暑さが予想されます。
つきましては、本校における熱中症予防の対応を下記の通りといたしますのでお知らせいたします。生徒の安全確保のため、何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

記

1 暑さ指数（WBGT）に応じた対応

熱中症予防と対応の判断基準は、環境省「熱中症予防情報サイト」に掲載される暑さ指数（WBGT）の予測値とします。ただし、校内での実測値、活動場所、行事内容などの実情も考慮して対応を検討します。

（1）予測値 25～27【基本対策の実施】

以下の熱中症予防基本対策を実施します。

- ・授業中の水分補給、エアコンや扇風機の適切な使用。
- ・部活動中の水分補給、適度な休息、扇風機の使用。

（2）予測値 28～30【基本対策＋対策の強化】

- ・ジャージ登校の許可を検討、実施します。
- ・体育や部活動での実施方法の工夫や制限を検討、実施します。

（3）予測値 31 以上【基本対策＋活動の制限や中止】

- ・体育や部活動の制限および中止を検討、実施します。
- ・各種行事の制限および中止を検討、実施します。

（4）予測値 33 以上 ※熱中症警戒アラート発表

- ・下校時間の繰り上げや臨時休校を検討、実施します。

2 対応決定時の連絡方法

具体的な対応（ジャージ登校の許可、部活動の中止、下校時間の変更など）が決定した場合は、Classi を通じてご連絡いたします。

熱中症への救急処置

Check1

熱中症を疑う症状がありますか？

めまい・失神・筋肉痛・筋肉の硬直・大量の発汗・頭痛・不快感・吐き気・嘔吐・倦怠感・虚脱感・意識障害・けいれん・手足の運動障害・高体温

【役割分担】

- ☐被災者への対応者
- ☐救急車要請・連絡等の担当者
- ☐救急搬送付添者（本人が倒れたときの状況を知っている人）

意識障害は、初期には軽いこともあることから、必ず誰かが付いて見守り、少しでも応答が鈍い、言動がおかしい等の意識障害が見られる場合は、熱中症を疑って処置（救急車の要請）をしましょう。

はい

Check2

呼びかけに応えますか？

いいえ

救急車を呼ぶ

はい

涼しい場所へ避難し、服をゆるめ体を冷やす

Check3

水分を自力で摂取できますか？

いいえ

はい

水分・塩分を補給する

Check4

症状がよくなりましたか？

いいえ

はい

そのまま安静にして十分に休息をとり、回復したら帰宅しましょう

医療機関へ

現場での処置によって症状が改善した場合でも、当日のスポーツ参加は中止し、少なくとも翌日までは経過観察が必要です。

（参考：「熱中症環境保健マニュアル 2022」（環境省）
「スポーツ事故ハンドブック」（独立行政法人日本スポーツ振興センター）
「学校の『危機管理マニュアル』等の評価・見直しガイドライン」（文部科学省）